



みんなの
教育技術

「教育現場と企業をつなぐ」
トライアル広告メニューのご案内

2025.09
小学館広告局

「みんなの教育技術」は、2026年に100周年を迎える教育雑誌『教育技術』を母体にした、小学校教員のための国内最大級のオンライン教育情報メディアです。現場の先生の「あったらいいな」に寄り添い、実践的な指導アイデアや教育トレンドを毎日発信しています。

メディアスペック

■月間PV 2,862,144PV

■月間UU 1,012,454UU

■メルマガ会員 67,468名

■Youtube チャンネル登録者数 12,100名

■X フォロワー数 13,901名

■Facebook フォロワー数 9,532名

■LINE 友だち数 6,926名



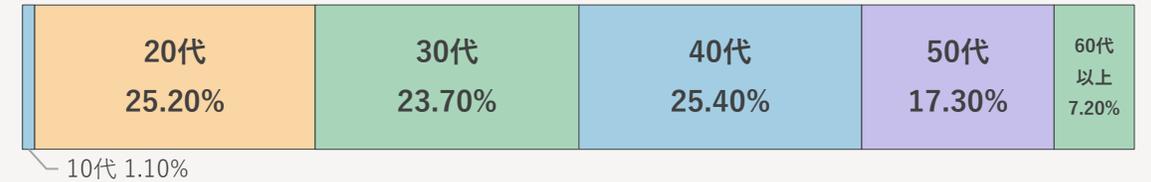
サイトURL : <https://kyoiku.sho.jp/>

全国の小学校教員が主な読者層で、若手からベテランまで幅広く、授業づくりや学級経営に積極的な現場の実践者が中心です。クライアント様の商品やサービスに関する情報を、教育現場での意思決定に関わる教員層へ直接届けることができます。

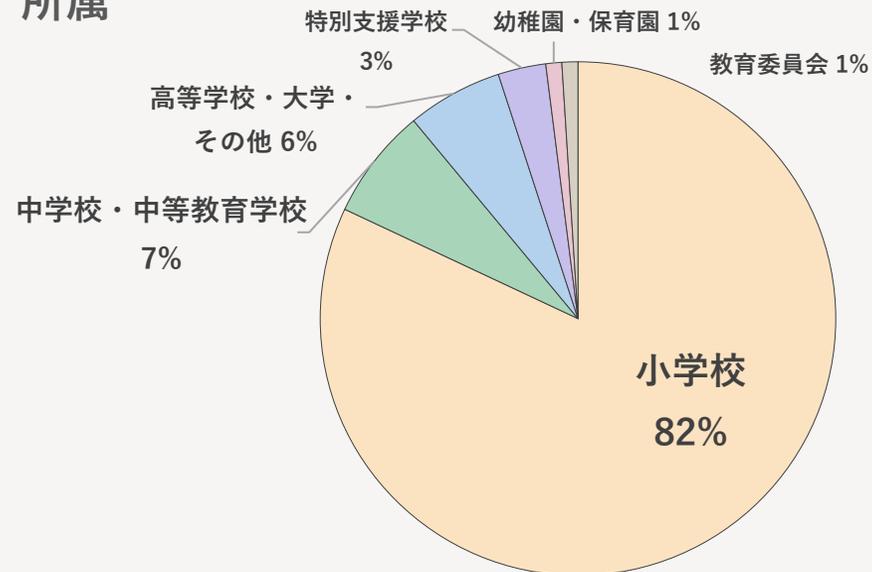
男女



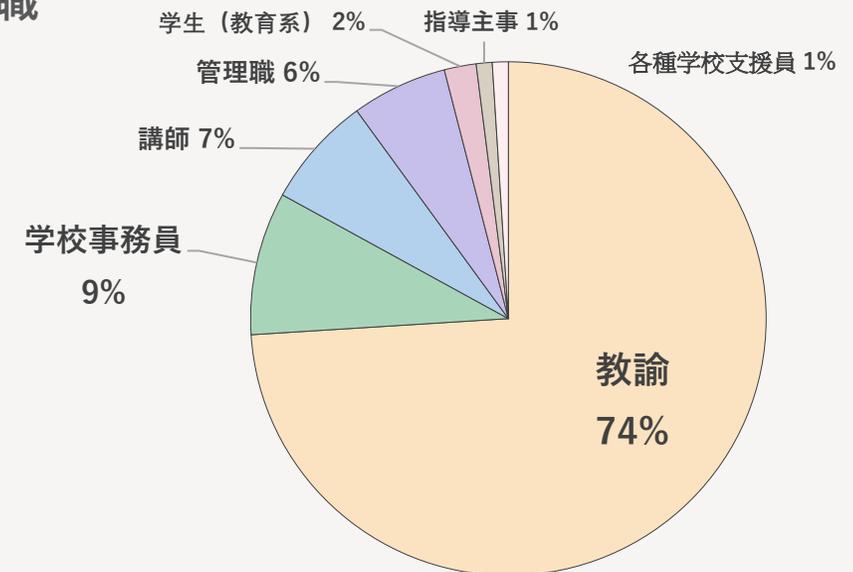
年齢



所属

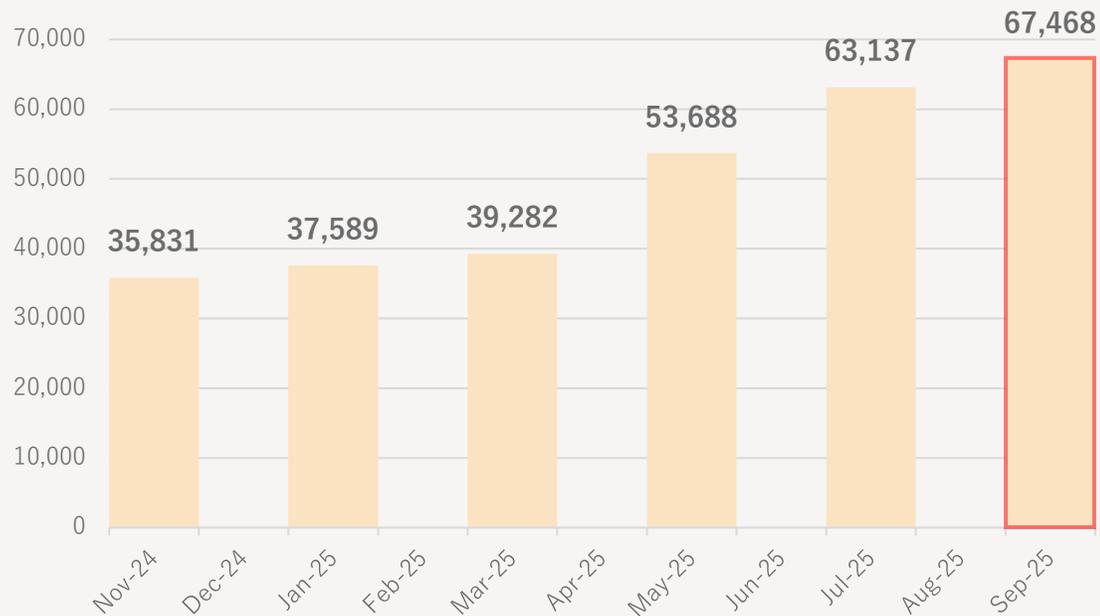


役職



教育現場で働く教員が自ら登録するメルマガは6.7万人超。継続的な情報提供を通じてアクティブな教員コミュニティが形成されており、クライアント様の商品・サービスも教育現場の文脈の中で自然に受け入れられ、理解促進につながります。

メルマガ会員数の成長



⇒「みんなの教育技術」では、教育現場で働く教員が自ら情報を求めて登録しており、メルマガ会員数は年々増加しています。

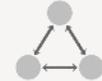
アクティブな教員コミュニティ



メルマガを通じた
継続的な情報提供



読者アンケートから
フィードバックを取得



教員との関係性を育みなが
ら、商品理解の促進が可能

⇒メルマガや記事を通じて、教育現場の課題や実践を共有する教員コミュニティが形成されており、クライアント様の情報もその文脈の中で自然に受け入れられています。

クライアント様にとってのメリット



一度の接触ではなく、
継続的な関係構築が可能



アンケートや反応を通じた
現場ニーズの把握



教員の信頼を得ながら、
商品・サービスの理解促進

⇒クライアント様は、メルマガ登録者との継続的な接点を通じて、教育現場でのニーズや反応を把握しながら、商品・サービスに関する情報を自然な文脈で届けることができます。

広告メニュー①：トライアル（素材入稿型）タイアップ

ご支給いただく資料や画像素材をもとに、編集部が記事を制作する「トライアルタイアップ」は、初めての出稿でも手軽に実施できる導入プランです。教育現場に関心の高い読者層に向けて、企業様の商品・サービスを自然な文脈で紹介できます。

プラン	CMS・取材なし
掲載料金	G30万円 ※初回クライアント様限定特別価格
掲載日・期間	平日任意正午 / 誘導：1ヶ月(アーカイブ有り)
記事想定PV	3,000PV保証
誘導枠	<ul style="list-style-type: none"> ① TOPオススメ記事枠 ② 記事ページ右カラムバナー枠 ③ 記事ページ直下 Recommend 枠 ④ TW、FBへのオーガニック投稿
申込期限	掲載開始日より35営業日前
掲載レポート	PV数（日別・合計）、UU数（日別・合計）、セッション数、リンククリック数（日別・合計）、CTR（日別・合計）、平均エンゲージメント時間、平均セッション継続時間、読了数、読了率
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本プランは、オリエンシートに希望する掲載内容をご記入いただき、編集部と協議の上、進行させていただきます。 ・記事は、基本アーカイブいたします。 ・タイアップページ内と誘導枠にはPR表記が付きまます。 ・画像は3~5点、テキストは1,000字程度をボリュームを目安とさせていただきます。 ・掲載期間中の競合調整は行いません。あらかじめご了承ください。

タイアップ記事



3,000PV保証



全国の学校でICT環境の整備が進み、大型表示装置や電子黒板が各教室に導入されつつあります。しかし、導入しただけでは十分な効果は得られません。実際に授業で使いこなせるようにするには、研修や活用術の仕組み、そして教室環境に合わせた工夫が必要です。電子黒板を開発・提供するエプソンが、京都市立西京高等学校附属中学校での導入後の定着・活用事例をまとめた資料を新たに公開しました。導入初年度の半年間の間に、同校がどのように電子黒板の活用を推進し、学校全体に浸透させていったのか、その道のりと具体的な実践事例が詳しく紹介されています。その一部をご紹介します。

協力/エプソン販売株式会社

▼記事内容
同校の導入直後の様子をお伝えした前回はこちら：「教わる授業」から「学ぶ授業」へ！立中学校の電子黒板導入1年目の事例をエプソンが公開【PR】

タイアップ事例：



東京都選挙管理委員会様
⇒主権者教育
<https://kyoiku.sho.jp/369238/>



法務省様
⇒法教育
<https://kyoiku.sho.jp/361664/>



経済産業省様
⇒製品安全教育
<https://kyoiku.sho.jp/359454/>



ヤブ原産業様
⇒ANZENノンワックス
<https://kyoiku.sho.jp/362383/>

実施料金：G30万円

広告メニュー②：メルマガ配信プラン

「みんなの教育技術」登録会員 約67,000名にメルマガ広告を配信するプランです。
メルマガの開封率は約20%と高く、教育現場に関心の高い教員層に確実なリーチが可能。
記事内やメルマガにはクライアントサイトへのリンク設置もでき、商品・サービスの理解促進と誘導効果が期待できます。

プラン	メールマガジン配信
掲載料金	G50万円
配信日	平日任意
配信数	約67,000通配信（メルマガ開封率：約20%）
申込期限	掲載開始日より10営業日前
レポート	メルマガ配信成功数、開封数、開封率、クリック数
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本プランは、<u>オリエンシート</u>に希望する掲載内容をご記入いただき、編集部と協議の上、進行させていただきます。 ・メールマガジンにはPR表記が付きまます。 ・競合調整は行いません。あらかじめご了承ください。

メルマガ配信

電子黒板、導入後の壁を越える！活用定着の秘訣をエプソンが資料公開【PR】 外部 ☆

教育技術 メルマガ

📄 このメールを要約

k みんなの教育技術 8月29日 登録解除 ...

To 自分 ▾

こんにちは！ みんなの教育技術編集部です。

全国の学校でICT環境の整備が進む中、大型提示装置や電子黒板の導入が進んでいます。しかし、ただ導入するだけではその効果を最大限に引き出すのは難しいですね。では導入後にどういう手立てが必要になるのでしょうか。

今回は、電子黒板の開発・提供を行うエプソンが公開した、導入後の「活用定着」と「授業デザインの工夫」に関する最新資料をご紹介します。

*エプソン販売株式会社からの情報提供です。

67,000通配信

メルマガ開封率：約20%
記事・クライアントサイトへの
リンクが設置可能

実施料金：G50万円

広告メニュー③：トライアルタイアップ+メルマガ配信プラン

支給素材をもとに編集部が記事を制作し、約67,000名にメルマガで配信する導入プランです。メルマガの開封率は約20%と高く、教育現場に関心の高い教員層に確実なリーチが可能。記事内やメルマガにはクライアントサイトへのリンク設置もでき、商品・サービスの理解促進と誘導効果が期待できます。

プラン	CMS・取材なし
掲載料金	G75万円
掲載日・期間	平日任意正午 / 誘導：1ヶ月(アーカイブ有り)
記事想定PV	3,000PV保証
誘導枠	① TOPオススメ記事枠 ② 記事ページ右カラムバナー枠 ③ 記事ページ直下レコメンド枠 ④ TW、FBへのオーガニック投稿
申込期限	掲載開始日より35営業日前
掲載レポート	PV数(日別・合計)、UU数(日別・合計)、セッション数、リンククリック数(日別・合計)、CTR(日別・合計)、平均エンゲージメント時間、平均セッション継続時間、読了数、読了率メルマガ配信成功数、開封数、開封率、クリック数
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 本プランは、オリエンシートに希望する掲載内容をご記入いただき、編集部と協議の上、進行させていただきます。 記事は、基本アーカイブいたします。 タイアップページ内と誘導枠にはPR表記が付きまます。 画像は3~5点、テキストは1,000字程度をボリュームを目安とさせていただきます。 掲載期間中の競合調整は行いません。あらかじめご了承ください。

タイアップ記事



3,000PV保証



全国の学校でICT環境の整備が進み、大型提示装置や電子黒板が各教室に導入されつつあります。しかし、導入だけでは十分な効果は得られません。実際に授業で使いこなせるには、研修や活用用の仕組み、そして教室環境に合わせた工夫が必要です。電子黒板を開発・提供するエプソンが、京都府立西京高等学校附属中学校での導入後の定額・活用事例をまとめた資料を新たに公開しました。導入初年度の半年間の間に、同校がどのように電子黒板の活用を推進し、学校全体に浸透させていったのか、その裏の具体的な実践事例が詳しく紹介されています。その一部をご紹介します。

協力/エプソン販売株式会社

▼公開記事
同校の導入直後の様子をお伝えした新聞記事はこちら：
「数々の授業」から「学ぶ授業」へ！公立中学校の電子黒板導入1年目の事例をエプソンが公開【PR】

+

メルマガ配信

電子黒板、導入後の壁を越える！活用定着の秘訣をエプソンが資料公開【PR】 外部 ☆

67,000通配信

メルマガ開封率：約20%

記事・クライアントサイトへのリンクが設置可能

全国の学校でICT環境の整備が進む中、大型提示装置や電子黒板の導入が進んでいます。しかし、ただ導入するだけではその効果を最大限に引き出すのは難しいですね。では導入後にどのような手立てが必要になるのでしょうか。

今回は、電子黒板の開発・提供を行うエプソンが公開した、導入後の「活用定着」と「授業デザインの工夫」に関する最新資料をご紹介します。

※エプソン販売株式会社からの情報提供です。

タイアップ事例：エプソン販売様
<https://kyoiku.sho.jp/398556/>

実施料金：G75万円

広告メニュー④：メルマガ配信+アンケートプラン

「みんなの教育技術」登録会員 約67,000名に向けてメルマガを配信し、アンケートを実施するプランです。開封率は約20%と高く、教育現場の関心層に確実なリーチが可能。アンケートでは、商品・サービスに対する反応やニーズを把握でき、メルマガ内にクライアントサイトへのリンク設置も可能です。

プラン	メールマガジン配信
掲載料金	G70万円
配信日	平日任意
配信数	約67,000通配信（メルマガ開封率：約20%）
申込期限	掲載開始日より10営業日前
レポート	メルマガ配信成功数、開封数、開封率、クリック数 アンケート回答
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 本プランは、オリエンシートに希望する掲載内容をご記入いただき、編集部と協議の上、進行させていただきます。 メールマガジンにはPR表記が付きまます。 競合調整は行いません。あらかじめご了承ください。

メルマガ配信

電子黒板、導入後の壁を越える！活用定着の秘訣をエプソンが資料公開【PR】 外部 ☆

67,000通配信
メルマガ開封率：約20%
記事・クライアントサイトへの
リンクが設置可能

全国の学校でICT環境の整備が進む中、大型提示装置や電子黒板の導入が進んでいます。しかし、ただ導入するだけではその効果を最大限に引き出すのは難しいですね。では導入後にどのような手立てが必要になるのでしょうか。

今回は、電子黒板の開発・提供を行うエプソンが公開した、導入後の「活用定着」と「授業デザインの工夫」に関する最新資料をご紹介します。

※エプソン販売株式会社からの情報提供です。

アンケート調査

属性情報：
年齢、性別、勤務地域、学校種別（公立／私立）、教員歴、担当学年、担当教科役職

+ 設問8問ほど

+

実施料金：G70万円

「みんなの教育技術」のYoutubeチャンネル

「みんなの教育技術」YouTubeチャンネルは、小学校教員向けに授業・学級経営・学校行事などの実践的な情報を発信しています。有識者や現役教員が出演するリアルな内容で高い視聴完了率を誇り、教育現場での活用も多数。タイアップ動画を通じて、教員層への確実なリーチと商品・サービスの自然な訴求が可能です。



<https://www.youtube.com/@kyoikugijutsu>

■チャンネル概要

- 運営元：小学館 教育編集部
- 登録者数：12,000人以上
- 動画本数：200本以上
- 対象：小学校教員向けの教育情報メディア
- 主なコンテンツ：



授業改善・学級経営・学校行事のアイデア



教師の悩みに寄り添うミニ研修動画



運動会ダンス・教室レク・教材活用法など実践的なノウハウ



教師インフルエンサーによるトーク企画や相談コーナー

■動画の特徴

実践的・共感性の高い内容



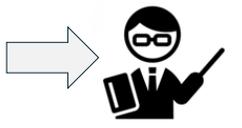
現役教員が出演し、リアルな悩みやアイデアを共有。授業や職員研修で動画が活用されるケースが多数。

多様なフォーマット



トーク番組、研修動画、ダンス指導、教材紹介など、目的に応じた構成。

教員層への確実なリーチ



教育現場に浸透しているチャンネルで、ターゲットが明確。動画内で商品・サービスの使用シーンを具体的に提示可能。

SNS・Web連携も可能



YouTube動画と「みんなの教育技術」Web記事・メルマガとの連動で拡散力アップ。

小学校の教員向け専門チャンネルで商品・サービスを自然に紹介。教育現場に届く動画タイアップ広告。

編集長・山本が企業のご担当者様にインタビューを行い、商品・サービスの開発背景や教育現場での活用意図を深掘りします。教育専門メディアならではの視点で、教員層に信頼感のある情報を届けることができ、導入イメージを自然に伝える構成が可能です。動画はWeb記事やメルマガと連動させることで、教育現場への浸透と認知拡大を効果的に促進します。

プラン	みんなの教育技術チャンネルタイアップ
掲載料金	G200万円
制作コンテンツ	①番組制作（約30分） ②ダイジェスト映像（約1分） ③動画紹介記事+メールマガジン
出演者	・クライアントご担当者様：1名 ・MC/ファシリテーター：みんなの教育技術編集長 山本 *有識者は別途費用でアサイン可能（都度見積）
配信先	みんなの教育技術 公式Youtubeアカウント
視聴保証数	5万回再生（オーガニック+YouTubeインフィード動画広告） 期間：4週間（動画はその後アーカイブ）
申込期限	掲載開始日より40営業日前
注意事項	・メールマガジンにはPR表記が付きます。 ・競合調整は行いません。あらかじめご了承ください。

イメージ：小宮山利恵子さんインタビュー



実施料金：G200万円

その他トピック：学校現場の生成AI活用実践コンテスト



コンテスト概要

名称：学校現場の生成AI活用実践コンテスト2025

共催：小学館「みんなの教育技術」編集部

一般社団法人 教育AI活用協会（AIUEO）

開催日： 2025年11月16日（日）オンライン開催
（最終プレゼン審査会）

※同日開催の東京大学での教育AIイベントでライブ放映

応募対象：全国の小・中・高・特別支援学校教員

表彰：各部門（授業実践／生徒支援／校務改善）の最優秀事例を「ベスト・プラクティス賞」として表彰

○表彰状および副賞（図書カード10,000円分）

○受賞実践は「みんなの教育技術」Webで特集記事化

小学館「みんなの教育技術」編集部ならびに一般社団法人 教育AI活用協会（AIUEO）は、生成AIを教育現場で有効に活用する優れた実践を表彰・発信することを目的に、この秋に「**学校現場の生成AI活用実践コンテスト**」を開催する運びとなりました。

生成AIの活用は教育現場でも注目を集めていますが、「どのように使えばよいのか」「他の学校ではどのように取り組んでいるのか」という不安や疑問の声も多く聞かれます。本コンテストでは、全国の教員による実際の活用事例を広く募集し、優れた実践を「ベスト・プラクティス」として表彰・共有することで、現場の教員同士の学び合いと教育の質向上をめざします。

11月16日（日）オンラインで実施予定の最終審査会でのご紹介とセットで、『みんなの教育技術』WEBサイト上でのご紹介タイアップ記事を実施させていただきます。

詳細は以下ご査収下さい。**お申込み締切は2025年10月10日（金）まで**

ご協賛金額	ご協賛内容
G10万円	<ul style="list-style-type: none">・ 審査会/プレスリリースでのロゴ掲出・ ご協賛社様としてのご紹介（1分程度）
G30万円	<ul style="list-style-type: none">・ 審査会/プレスリリースでのロゴ掲出・ ご協賛社様としてのご紹介（2,3分程度）・ 『みんなの教育技術』WEBタイアップ（2,000～3,000PV想定）
G80万円 (1社様限定)	<ul style="list-style-type: none">・ 審査会/プレスリリースでのロゴ掲出・ ご協賛社様としてのご紹介（2,3分程度）・ 『みんなの教育技術』WEBタイアップ（2,000～3,000PV想定）・ ご協賛社様特別賞の設定

※上記は全てグロス金額となります

※全てのメニューで教育関係者向け資料・告知ページでのロゴ掲載も可能です（ご希望の場合）

小学館 広告局 第二メディア営業室

TEL : 03-3230-5366

Email: net-biz@shogakukan.co.jp

メールの際は下記担当者にもccでご連絡をお願いいたします。

企画ご相談

第二メディア営業室

九島

Email: ryoichi.kushima@shogakukan.jp